

同窓生シリーズ

17



森 佑子氏
昭和30年卒業。旧姓岩橋、昭和34年日本女子大学生生活芸術学科住居専攻卒業。同年柳井建築設備研究所入社、給排水衛生、空調並びに厨房設計業務に従事、昭和45年同社退社後森厨房設計室開設。他日本厨房機器工業会各委員、講師。日本ホテルスクール講師等。主たる厨房関係の設計活動は東京デイズニールランド料飲29施設、第一ホテル東京他121施設。執筆、「建築設計資料集第六巻」他

おそらく日本では最初の厨房専門設計事務所を開設され、長くご活躍中の森佑子さんに、お話を伺いました。

高校ではバスケット部

私が在学中の頃は有名な進学校で、多くの方が国公立大を目指してました。中学から続けてきたバスケット部に、勢いよく入ってしまったもので、勉強は進むのに練習に時間は取られるし、帰宅すれば眠いし、もう大変でした。部室は一室で、男女が交替で使います。体育館は床がぬけてケガをする、といったこともありました。それで

も三年の夏までバスケットをやった後、受験勉強にやっと入り、絵や図面を画くのが好きだったので、大学で学んだ住宅設計が生かせる設備設計の事務所に就職し、設備の一部にあたる厨房を主に担当しました。

業務用厨房の道へ

この「厨房」は業務用つまり、ホテル、レストラン、病院、学校給食等のキッチンをいいます。一度にたくさん作り、特定多数の人に出すので、法的な規制があり、それをクリアしながら、使い易さ、衛生面、掃除のし易さ、働く人の安全を

三年の夏までバスケットをやった後、受験勉強にやっと入り、絵や図面を画くのが好きだったので、大学で学んだ住宅設計が生かせる設備設計の事務所に就職し、設備の一部にあたる厨房を主に担当しました。前後半年で仕事に戻りました。

業務用厨房の道へ

ちようどその頃に、国内初の1000室のホテルを二つ手がけることになりました。初めてのことで、計画する方々が海外を見て廻り、アメリカには、厨房設計専門の事務所があることを教えてくれました。昭和四十五年に退社し

考えて作り出す。厨房の専門になって、ほぼ十年の間に結婚し子どももできましたが、仕事は続けていきたいと思いましたが、上の子の時は育児休業制度がない頃でしたが、自ら一年の休みをもらって、職場復帰しました。

東京デイズニールランド
今までしてきた仕事の中で、一番大きいものは東京デイズニールランドの29施設でした。アメリカの基本設計はあるのですが、厨房に限らず、全てを日本の基準に合わせて直さなければなりません。例えば、食事の量にしても、アメリカ人の八割位ですから、分量もそのように変える訳です。現地が埋立て、砂埃の頃は、神田で図面を画いていけばよかったのですが、浦安に行くようになってからは、往復1時間かけて二年間通いました。工事中も現場の監理がありました。

業務用厨房の道へ

初めは自宅で、現在は渋谷で、四人のメンバーと仕事をしています。家庭を持つ女性も働き易いようにフレックス・タイム制を取り入れました。若い方も状況がゆるす限り続けてほしいと思っています。

その頃子ども達は、大受検と中学生でした。後で二人から「僕が受検勉強の最中、お母さんはデイズニールランド、デイズニールランド」「私の中学三年間は、浦安にばかり通っていた」と言われました。

受検といえば、今の子ども達は、自分の好きなところを受けるのではなく、受かりそうなところを受けている気がします。就職にしても、今は、かなり意志表示ができるのに「何代になっているの？」と尋ねても「何するんですか」という答えが返ってきています。方向が決まっていなくて、自分のやりたいことが、少なくとも、あつちなのか、こつちなのか、うらひは選んでほしいと思

業務用厨房の道へ

仕事を続けて
専業主婦を一度も経験しない私の「子育て」は、小さい時はスキンシップを大切に、保育園の登園もバスを使わずに、手をつないで話を聞きながら歩きました。私が迎えに行けなかった時は、夜に話を聞きました。小学生ぐらいの時は「子どもは親を選べないのよ」と聞き直っていましたね。いろいろ不満や反撥もありましたが、息子は職業を持ちたい人を選びましたし、娘も仕事を自分のものでしようという意欲に燃えている姿を見て、私が仕事を続けてきたことが、無意味ではなかったと思っています。

仕事を続けて
専業主婦を一度も経験しない私の「子育て」は、小さい時はスキンシップを大切に、保育園の登園もバスを使わずに、手をつないで話を聞きながら歩きました。私が迎えに行けなかった時は、夜に話を聞きました。小学生ぐらいの時は「子どもは親を選べないのよ」と聞き直っていましたね。いろいろ不満や反撥もありましたが、息子は職業を持ちたい人を選びましたし、娘も仕事を自分のものでしようという意欲に燃えている姿を見て、私が仕事を続けてきたことが、無意味ではなかったと思っています。

スケールの大きいお話を伺い、楽しいひとときでした。

業務用厨房の道へ

スケールの大きいお話を伺い、楽しいひとときでした。